

電子納品ツール

地質・土質編

本書では、電子納品ツールで「地質・土質」
（BORING）フォルダーを作成する手順を
解説しています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



1 地質・土質 (¥BORING)

地質・土質フォルダーの作成について解説します。

－ 地質情報 (¥BORING) －

- 1-1. ボーリング交換用データの作成と登録
(BEDNNNN.XML) P.2
- 1-2. 電子柱状図の登録 P.4
- 1-3. 電子簡略柱状図の登録 P.6
- 1-4. ボーリングコア写真の登録 P.9

－ 土質試験及び地盤調査 (¥BORING¥TEST) －

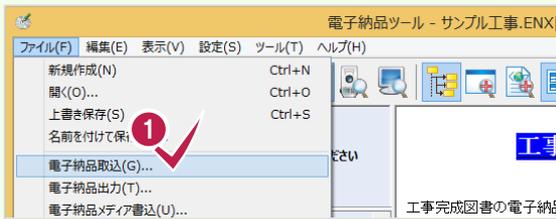
- 1-5. 電子データシートの登録 P.12
- 1-6. データシート交換用データの作成と登録
(TSNNNNMMM.XML) P.15
- 1-7. デジタル試料供試体写真の登録 P.17
- 1-8. グラフ・スケッチ等の画像データの登録 P.20
- 1-9. 土質試験及び地盤調査ファイルの作成 ... P.23

メモ

他のプログラムで作成した地質・土質のデータ (BORING.XML) を取り込むこともできます

本プログラム以外のプログラムで作成した地質・土質のデータの取り込みは、[ファイル] - [電子納品取込] コマンドで行います。

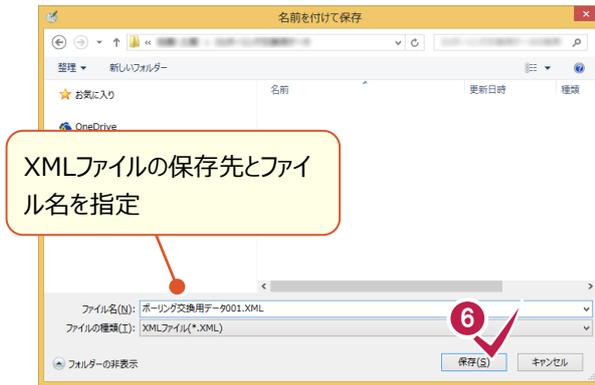
※選択した地質・土質のデータが、現在選択中の地質・土質の要領基準年度と異なる場合には取り込めません。



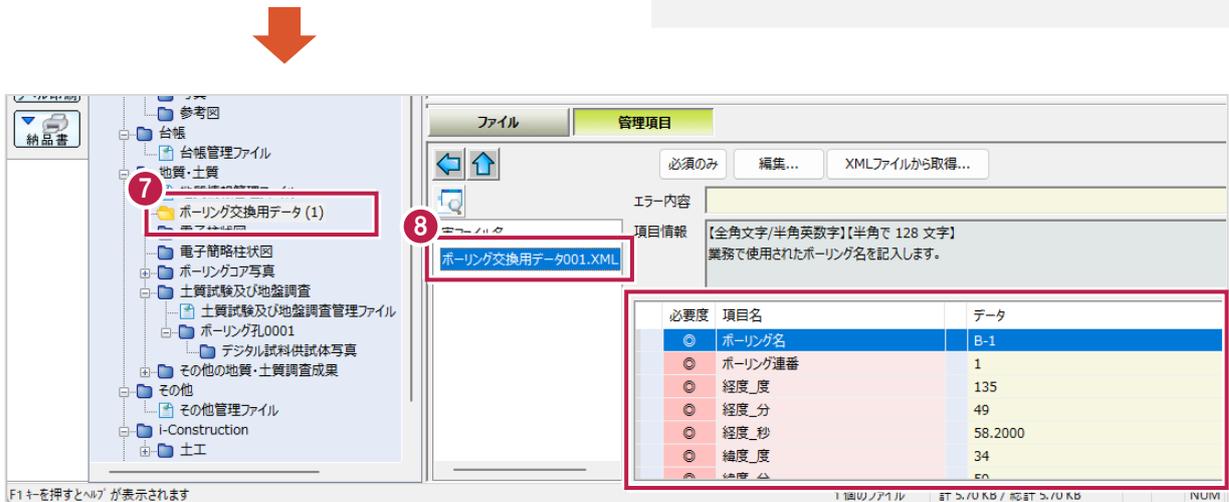
- 1 [ファイル] - [電子納品取込] コマンドを実行します。
- 2 [地質・土質データ取込] を選択します。
- 3 [参照] ボタンを押します。
- 4 "BORING.XML" が格納されているフォルダを選択します。
- 5 [OK] を押します。
現在開いているデータに、地質・土質のデータが取り込まれます。



続き



- 6 作成したボーリング交換用データ（BEDNNNN.XML）の保存先とファイル名を指定して、[保存] ボタンを押します。
- 7 ボーリング交換用データ（XML）ファイルが保存されます。同時に「ボーリング交換用データフォルダー」（¥DATA）に登録されます。
- 8 登録されたボーリング交換用データを選択して、管理項目を入力します。

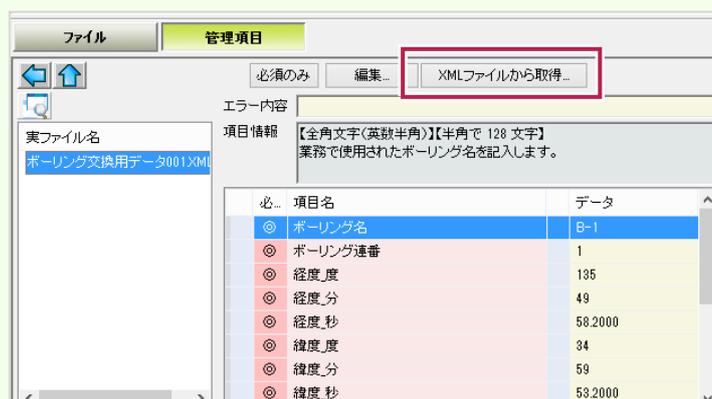


メモ

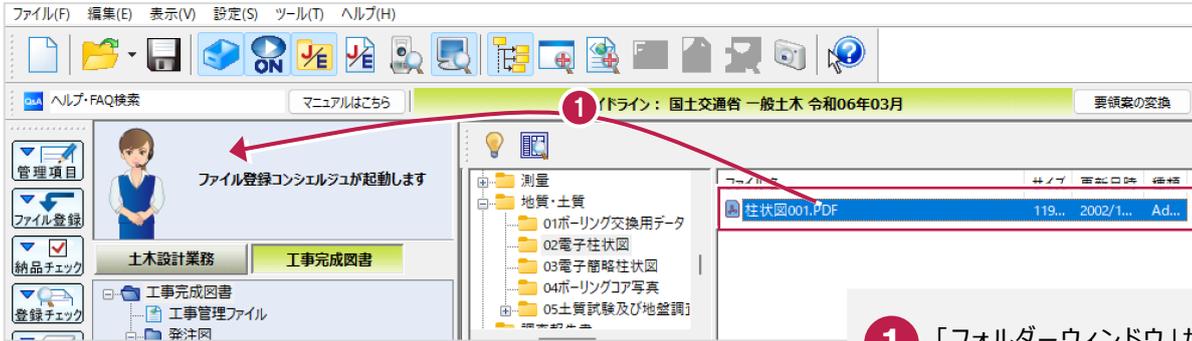
【XMLファイルから取得】ボタンで、管理項目を取得できます

【XMLファイルから取得】ボタンを押すと、ボーリング交換用データ（XML）から、管理項目を取得することができます。

入力ミスを防ぐため、【XMLファイルから取得】ボタンを使用することをお勧めします。

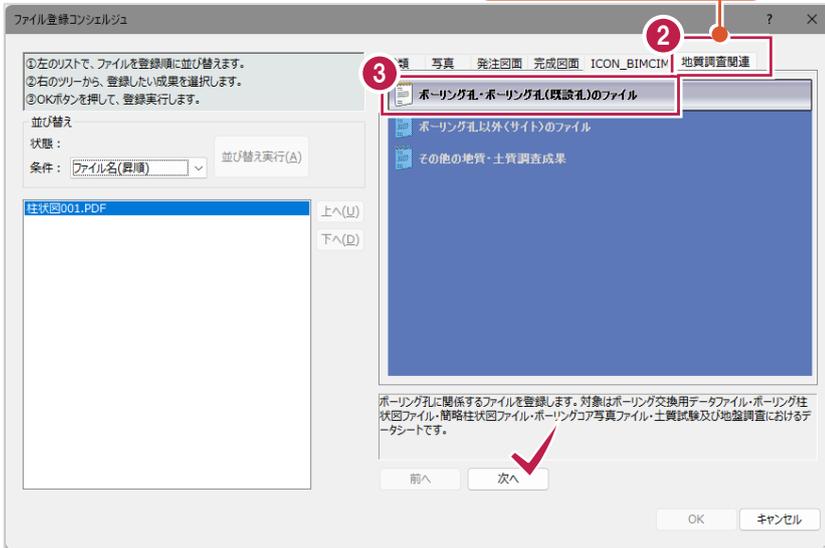


作成済みの電子柱状図（PDF）を、「電子柱状図フォルダー」（¥LOG）に登録します。



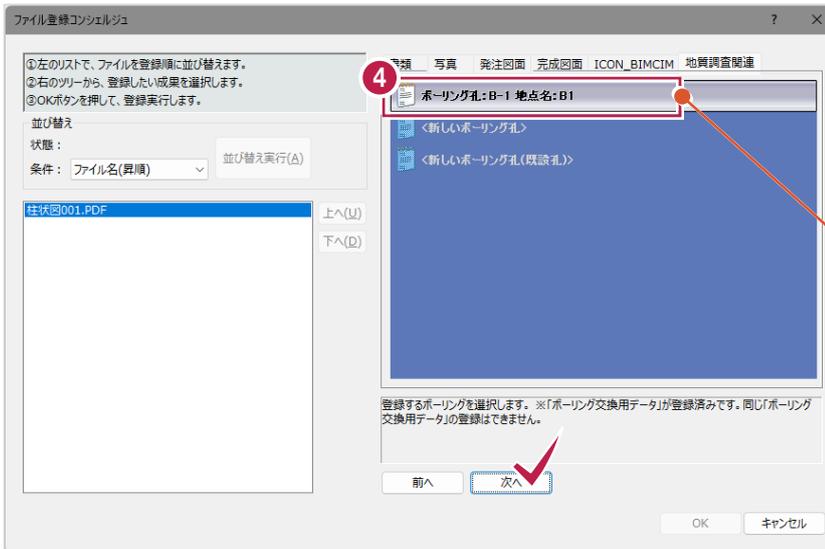
「地質調査関連」タブを選択します。

1 「フォルダー・ウィンドウ」から電子柱状図ファイルを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で「地質調査関連」タブを選択します。

3 「ボーリング孔・ボーリング孔（既設孔）のファイル」を選択して、「次へ」を押します。

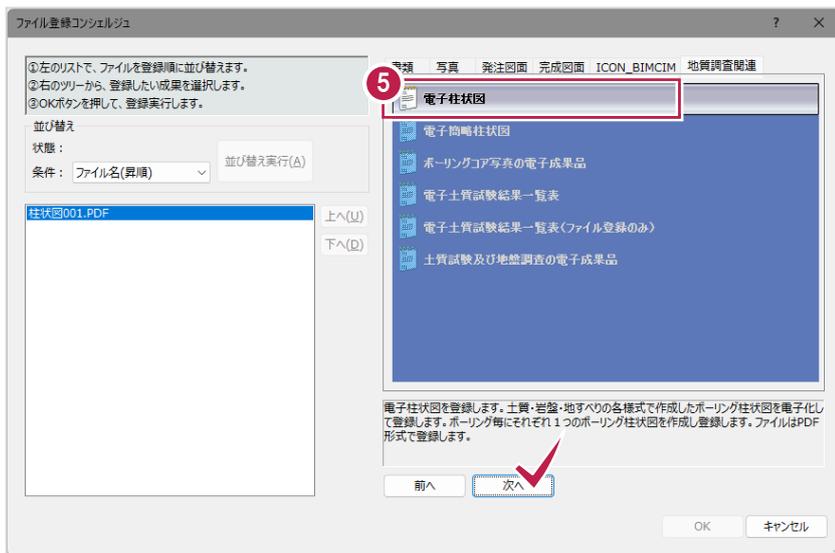


4 電子柱状図を登録するボーリング孔を選択して、「次へ」を押します。

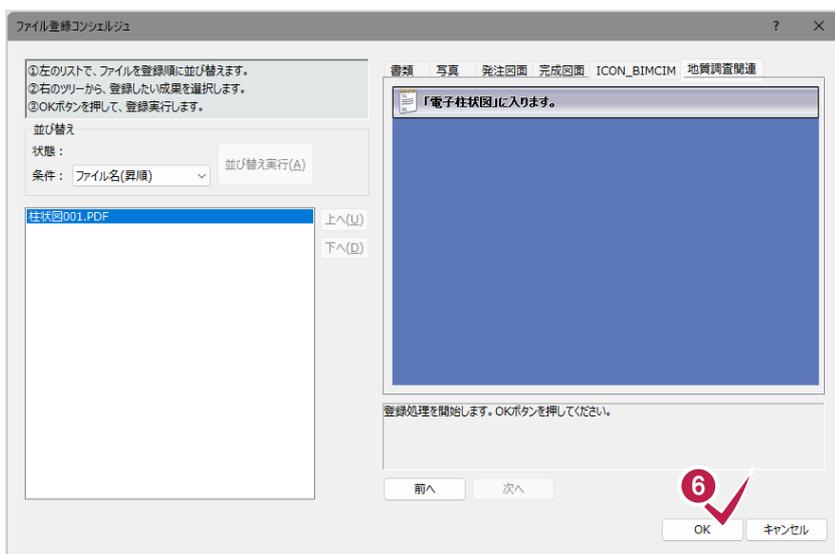
前述の「ボーリング交換用データの作成」で作成したボーリング孔です。

次ページへ

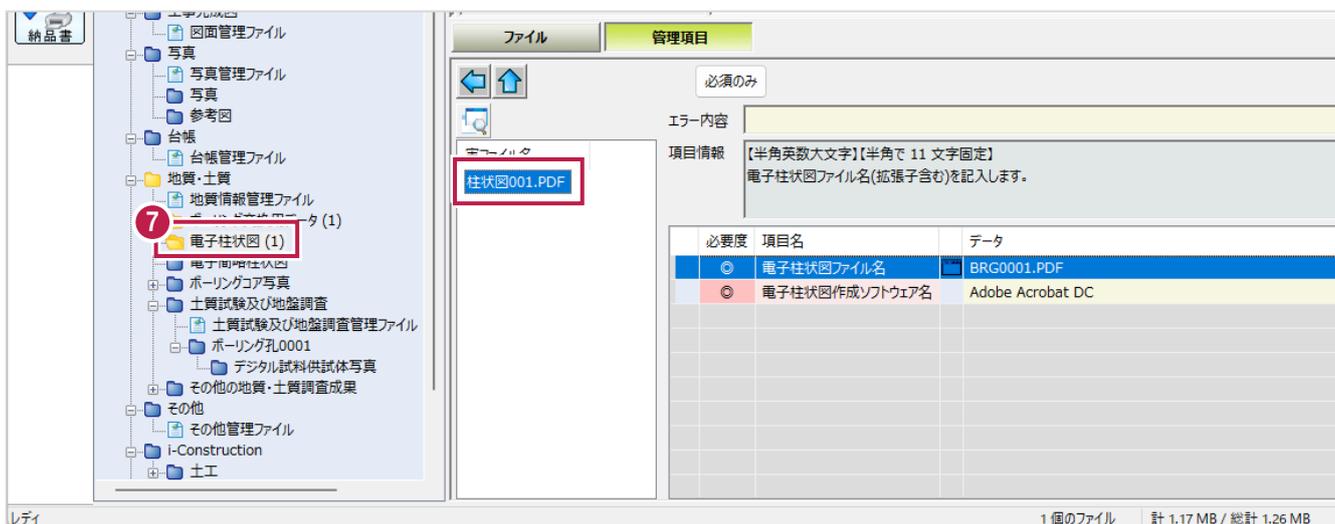
続き ↓



5 [電子柱状図] を選択して、
[次へ] を押します。

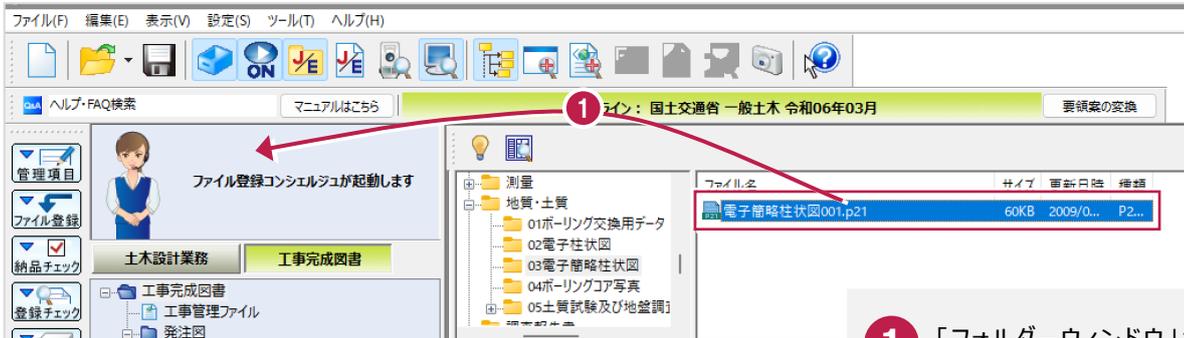


6 [OK] を押します。

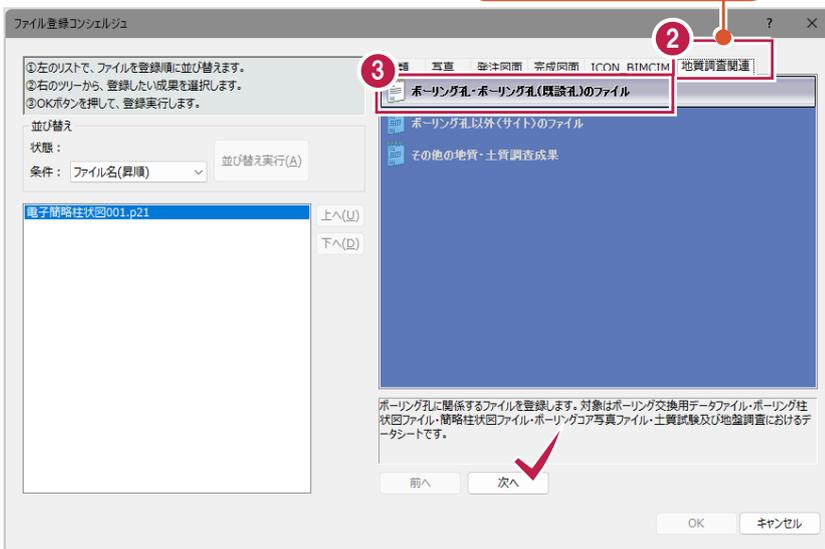


7 電子柱状図が「電子柱状図
フォルダー」(¥LOG)に登録さ
れます。

作成済みの電子簡略柱状図を、「電子簡略柱状図フォルダー」（¥DRA）に登録します。



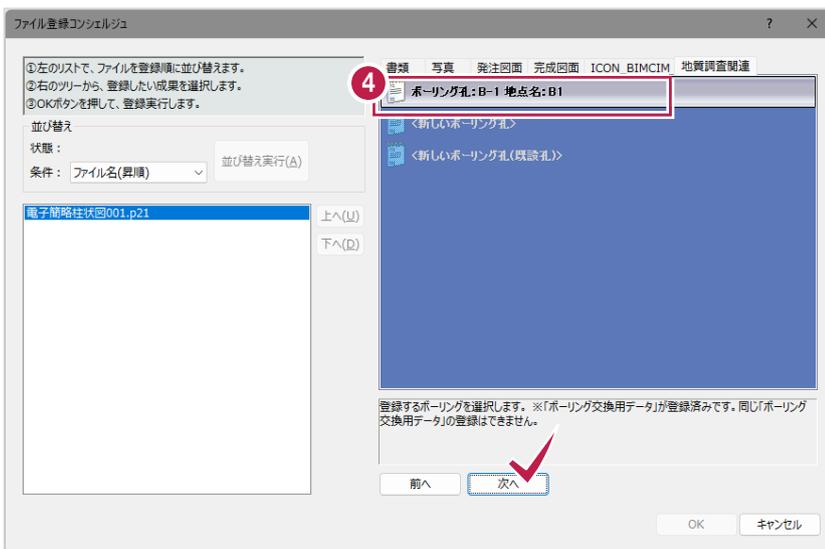
[地質調査関連] タブを選択します。



1 「フォルダーウィンドウ」から電子簡略柱状図を「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

2 「ファイル登録コンシェルジュ」で [地質調査関連] タブを選択します。

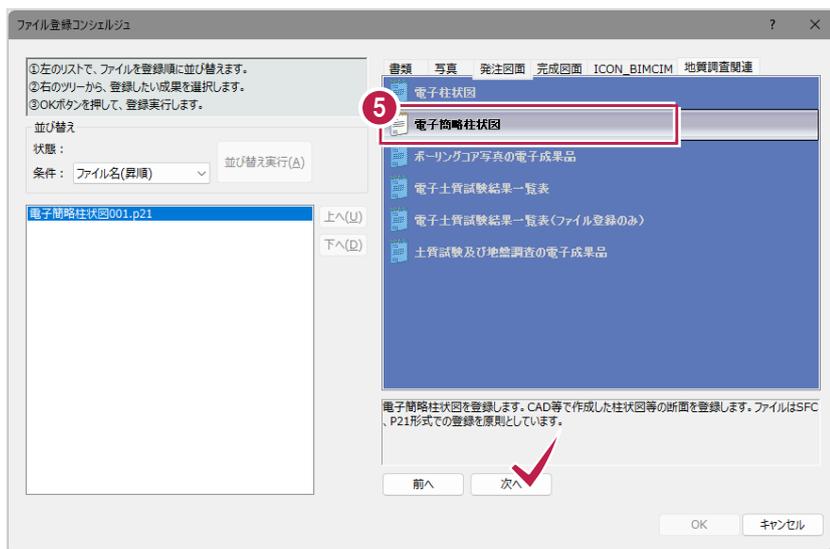
3 [ボーリング孔・ボーリング孔（既設孔）のファイル] を選択して、[次へ] を押します。



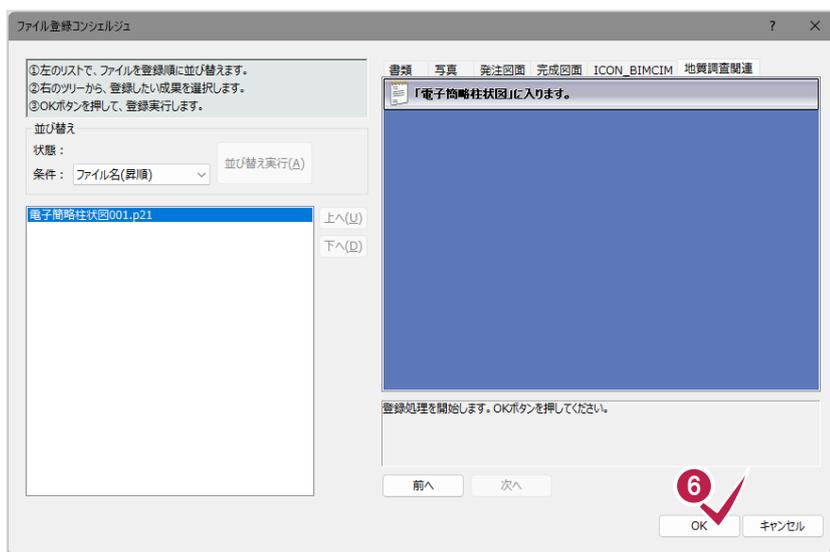
4 電子簡略柱状図を登録するボーリング孔を選択して、[次へ] を押します。

次ページへ

続き

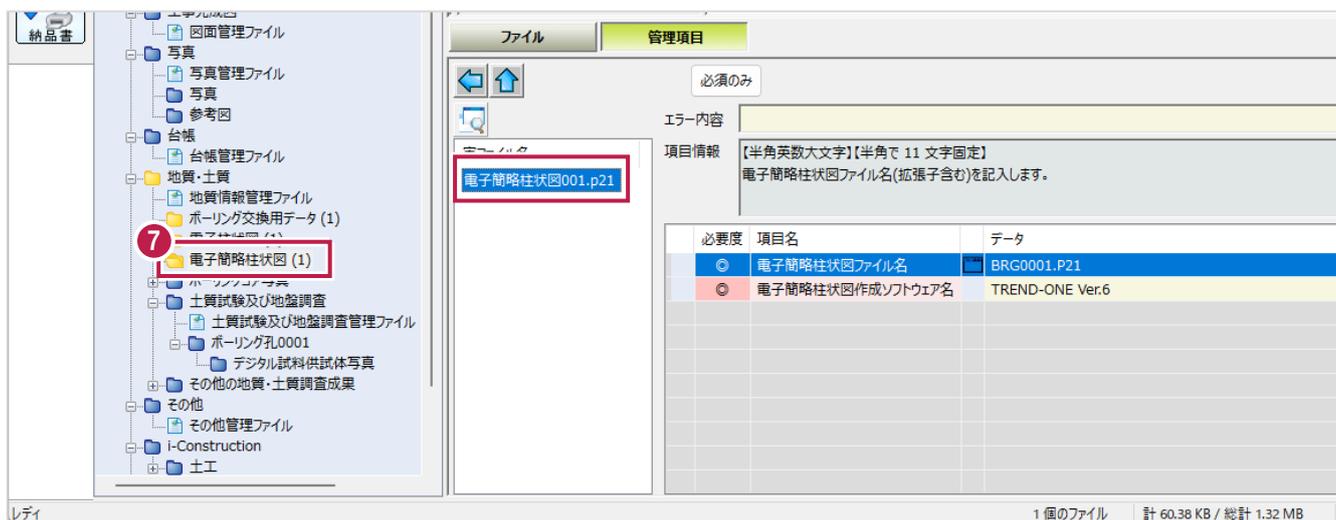


5 [電子簡略柱状図] を選択して、[次へ] を押します。



6 [OK] を押します。

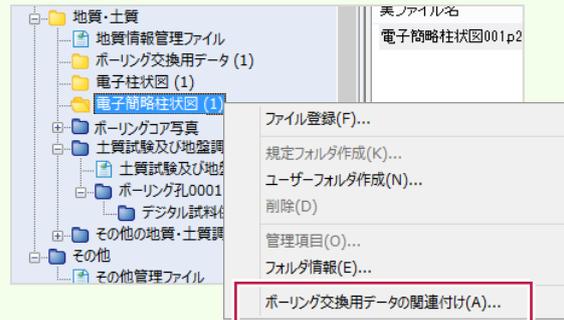
7 電子簡略柱状図が「電子簡略柱状図」フォルダー（¥DRA）に登録されます。



ボーリング交換用データと、電子柱状図／電子簡略柱状図の関連付けについて

「ファイル登録コンシェルジュ」で登録する際に、登録するボーリング孔を選択することで、ボーリング交換用データと電子柱状図／電子簡略柱状図は自動的に関連付けられます。

3つのファイルの関連付けを後で変更する場合は、ツリー部の「ボーリング交換用データ」・「電子柱状図」・「電子簡略柱状図」のいずれかのフォルダーを右クリックして表示されるポップアップメニューから、[ボーリング交換用データの関連付け] コマンドを実行してください。（右図参照）



【登録】 ボタン

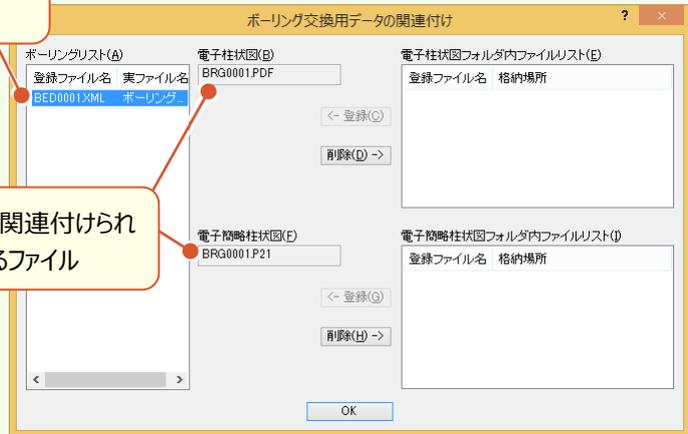
右側のリストで選択されている「電子柱状図」・「電子簡略柱状図」を、左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けます。

【削除】 ボタン

左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けられている「電子柱状図」・「電子簡略柱状図」を解除します。

ボーリング交換用データ

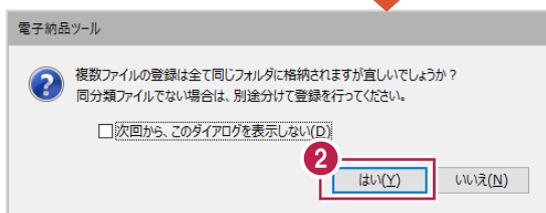
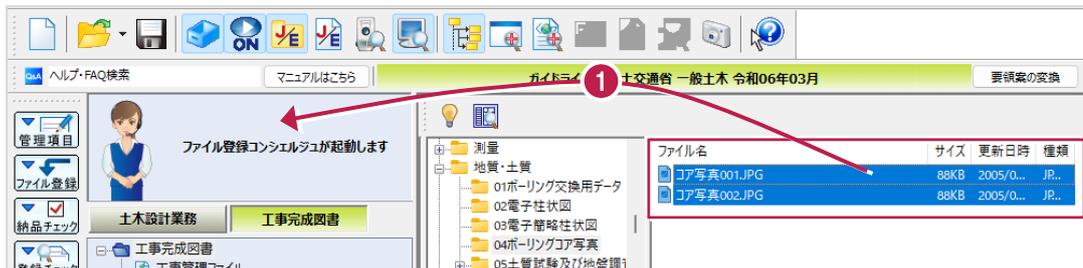
現在関連付けられているファイル



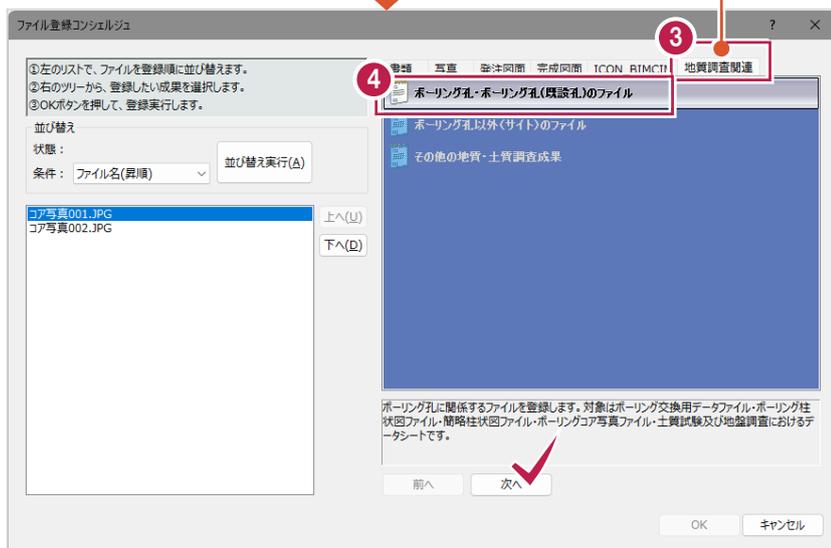
1-4

ボーリングコア写真の登録

撮影したコア写真を、「ボーリングコア写真フォルダー」（¥PIC）に登録します。



[地質調査関連] タブを選択します。

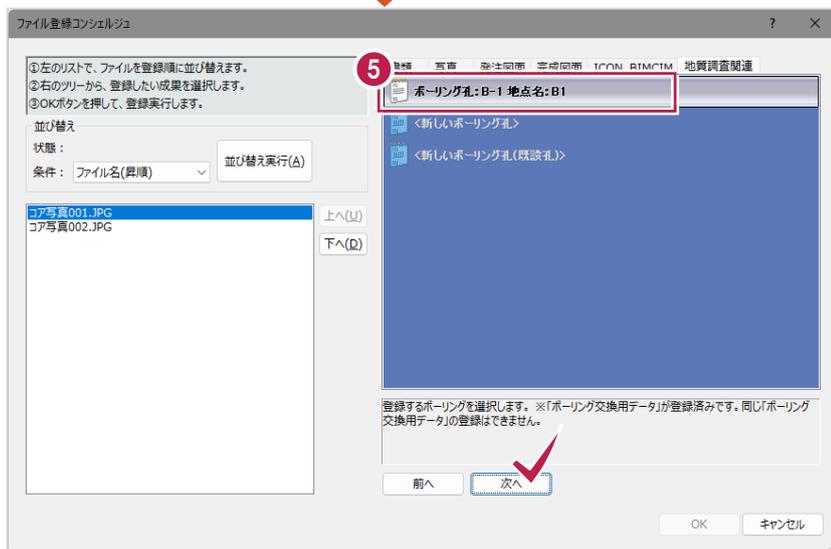


1 「フォルダーウィンドウ」からボーリングコア写真を「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

2 [はい] を押します。

3 「ファイル登録コンシェルジュ」で [地質調査関連] タブを選択します。

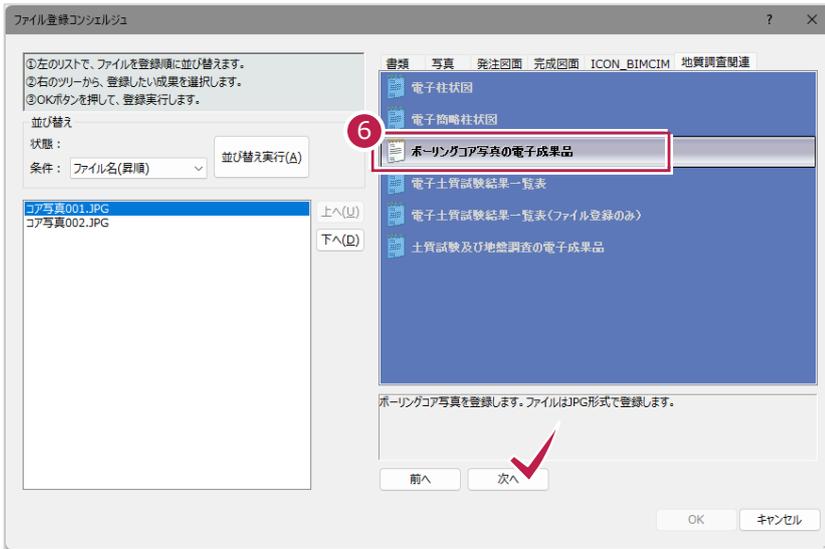
4 [ボーリング孔・ボーリング孔（既設孔）のファイル] を選択して、[次へ] を押します。



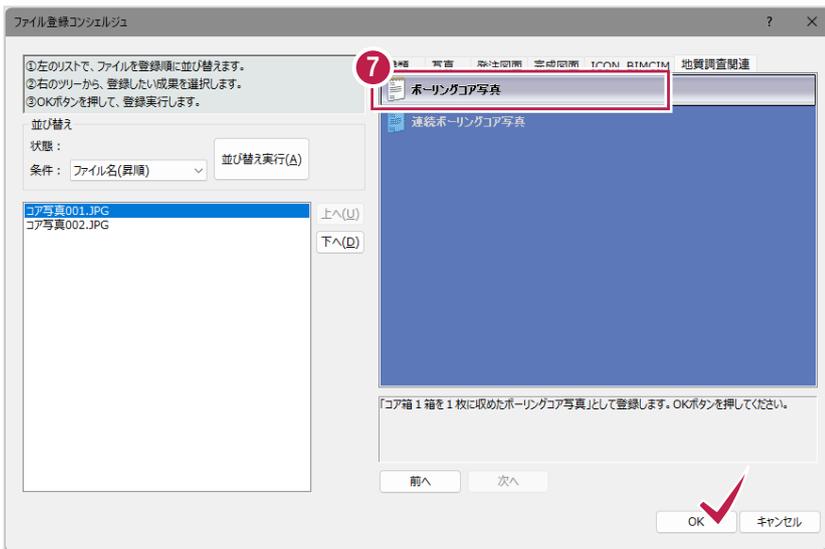
5 ボーリングコア写真を登録するボーリング孔を選択して、[次へ] を押します。

次ページへ

続き



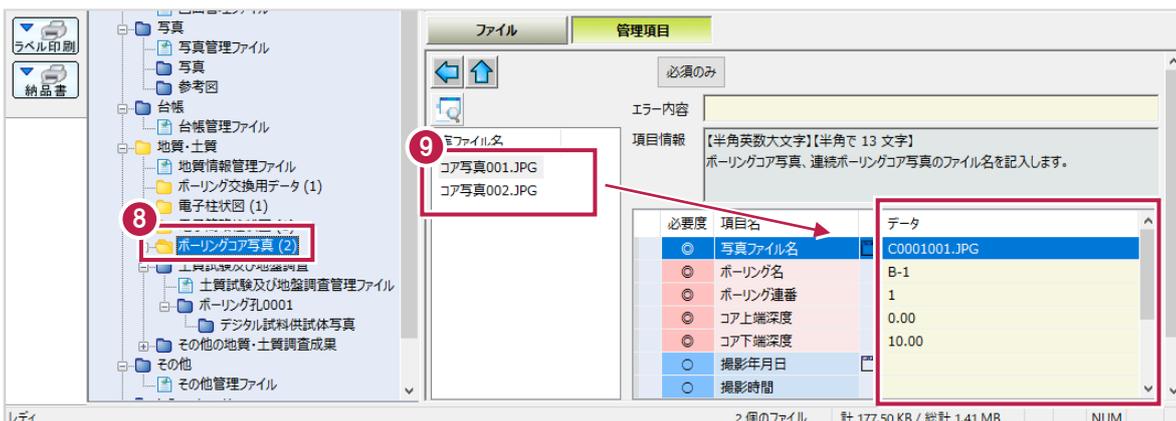
6 [ボーリングコア写真の電子成果品] を選択して、[次へ] を押します。



7 登録する写真を選択して、[OK] を押します。

8 ボーリングコア写真が「コア写真フォルダー」（¥PIC）に登録されます。

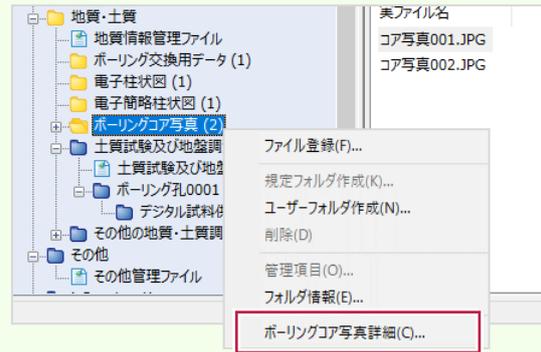
9 登録された写真を選択して、管理項目を入力します。



ボーリング交換用データと、コア写真／連続コア写真の関連付けについて

「ファイル登録コンシェルジュ」で登録する際に、登録するボーリング孔を選択することで、ボーリング交換用データとコア写真／連続コア写真は自動的に関連付けられます。

「ボーリング交換用データ」と「コア写真」・「連続コア写真」の関連付けを後で変更する場合は、ツリー部の「ボーリングコア写真」フォルダを右クリックして表示されるポップアップメニューから、[ボーリングコア写真詳細] コマンドを実行してください。（右図参照）



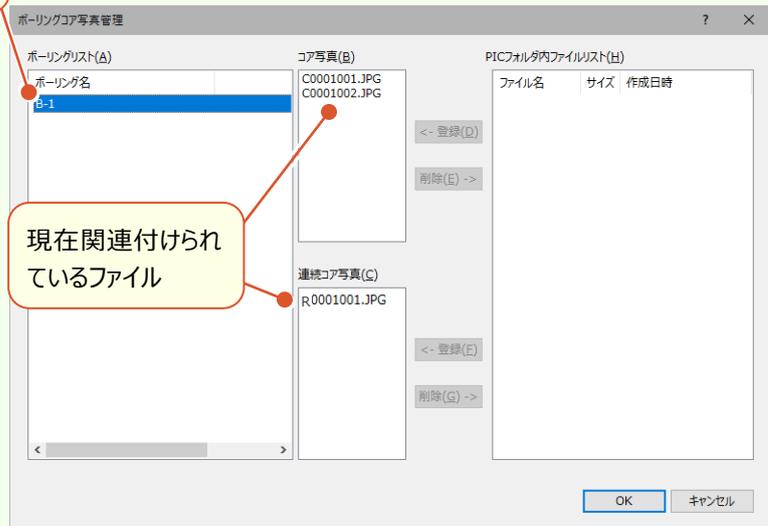
ボーリング交換用データ

【登録】 ボタン

右側のリストで選択されている「コア写真」・「連続コア写真」を、左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けます。

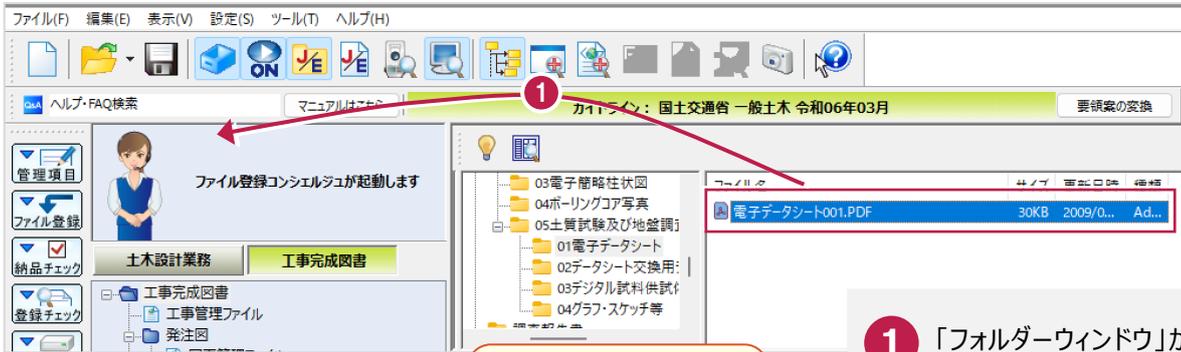
【削除】 ボタン

左側のリストで選択されている「ボーリング交換用データ」に関連付けられている「コア写真」・「連続コア写真」を解除します。



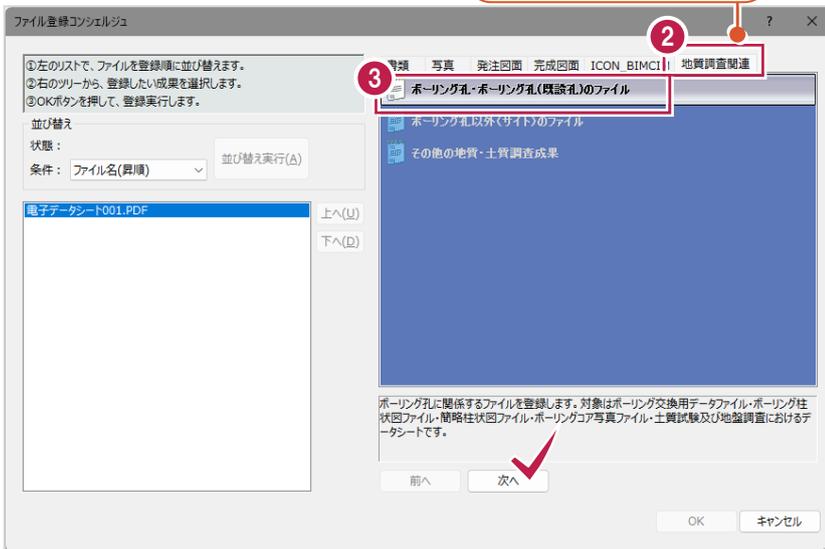
現在関連付けられているファイル

土質試験及び地盤調査（¥BORING¥TEST）に、作成済みの電子データシートを登録します。



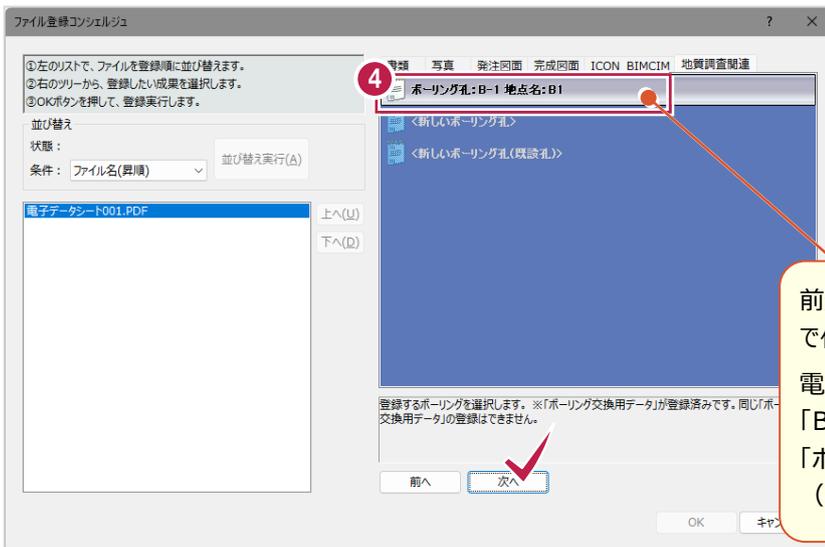
1 「フォルダーウィンドウ」から電子データシートを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

1 「フォルダーウィンドウ」から電子データシートを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。



2 「ファイル登録コンシェルジュ」で「地質調査関連」タブを選択します。

3 「ボーリング孔・ボーリング孔（既設孔）のファイル」を選択して、「次へ」を押します。



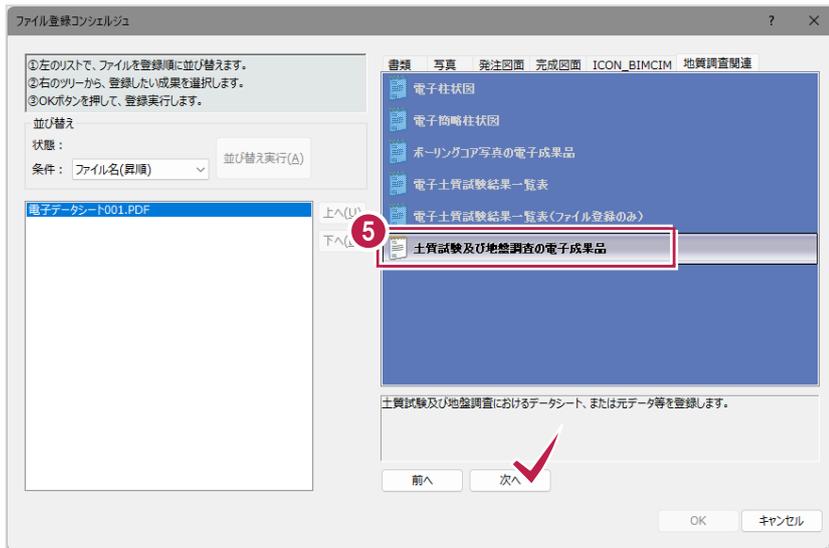
4 電子データシートを登録するボーリング孔を選択して、「次へ」を押します。

前述の「ボーリング交換用データの作成」で作成したボーリング孔です。
電子データシート（PDF）は、「BORING - TEST」フォルダーの下層の「ボーリング孔0001」フォルダー（¥BRG0001）に登録されます。

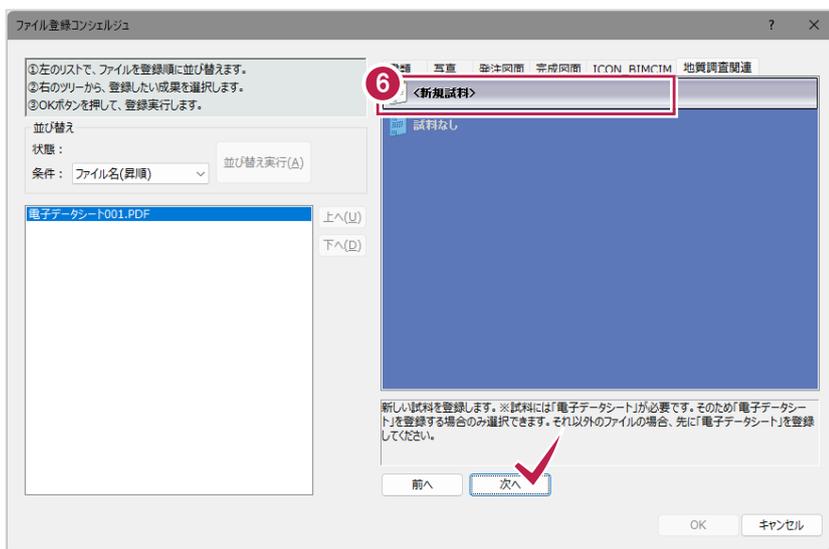


次ページへ

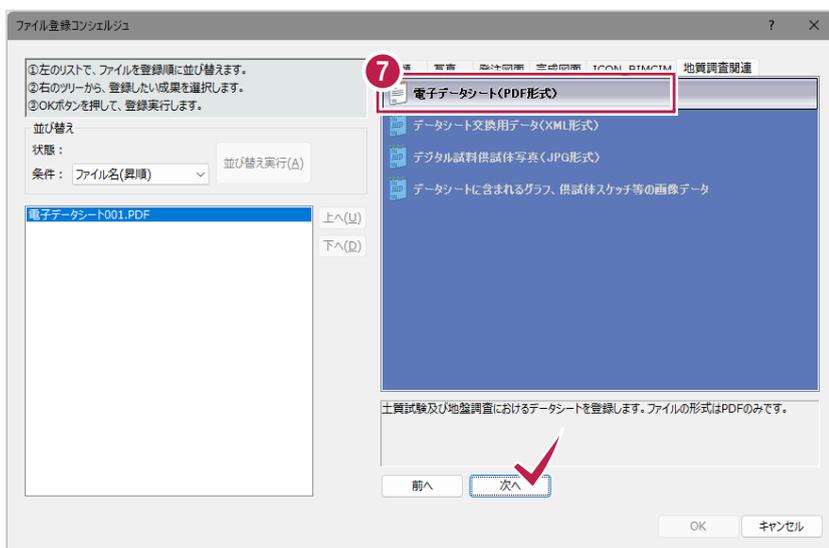
続き ↓



5 [土質試験及び地盤調査の電子成果品] を選択して、[次へ] を押します。



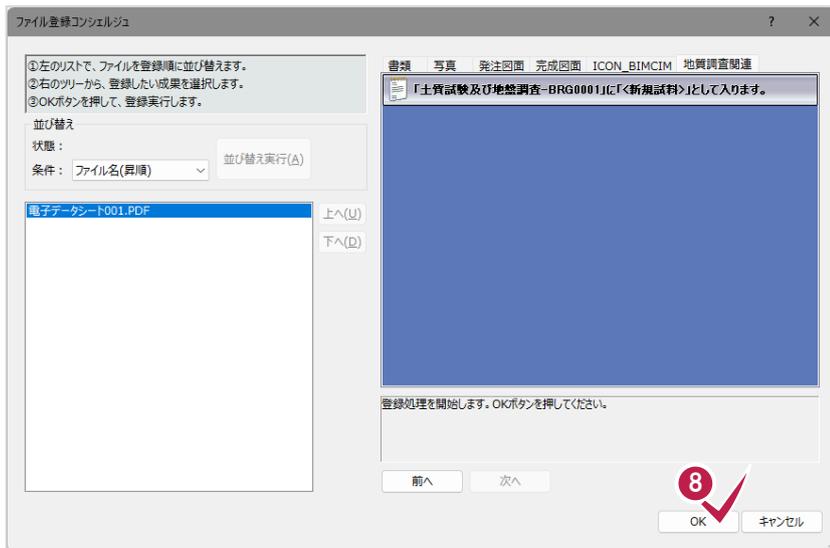
6 [<新規試料>] を選択して、[次へ] を押します。



7 [電子データシート (PDF形式)] を選択して、[次へ] を押します。

↓ 次ページへ

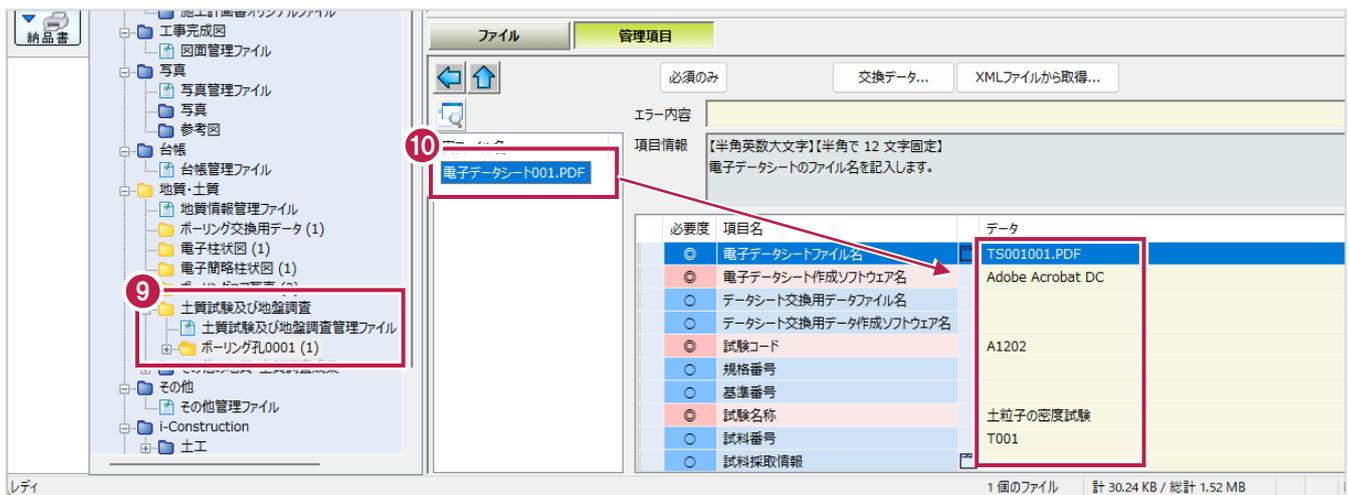
続き ↓



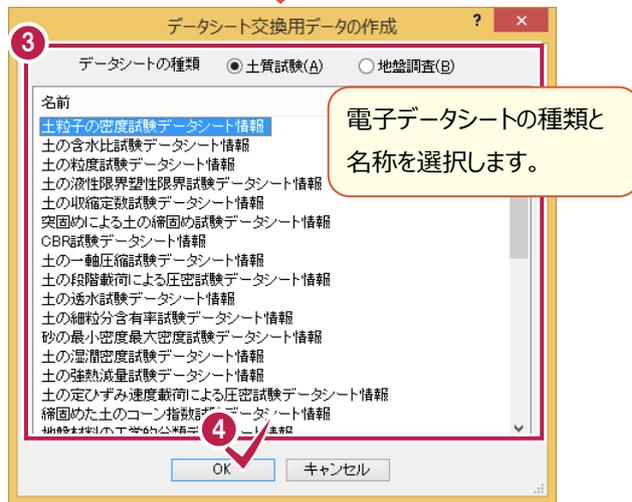
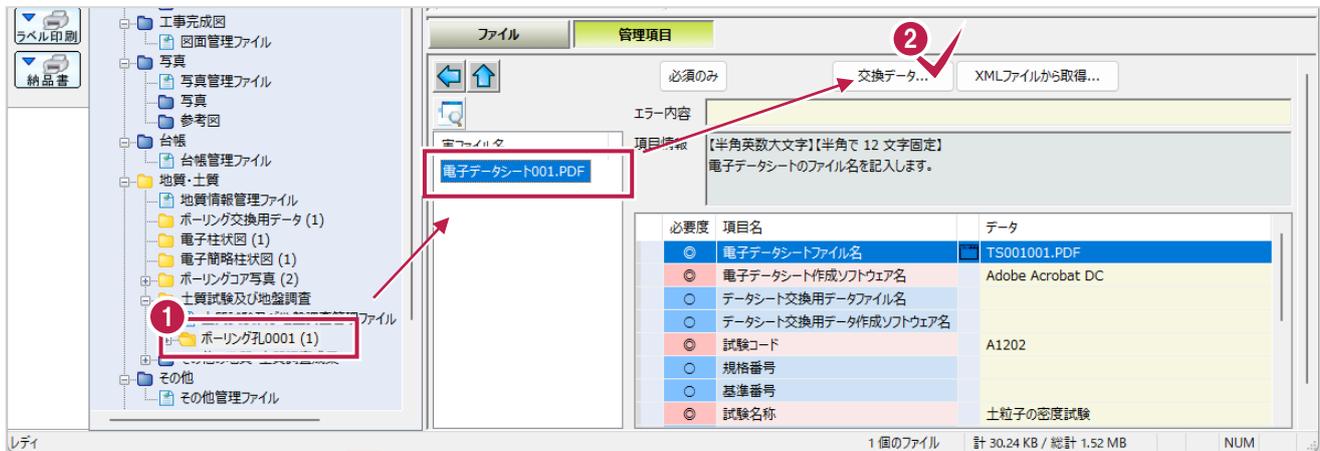
8 [OK] を押します。

9 「ボーリング孔0001」フォルダー（¥BRG0001）に、電子データシートが登録されます。

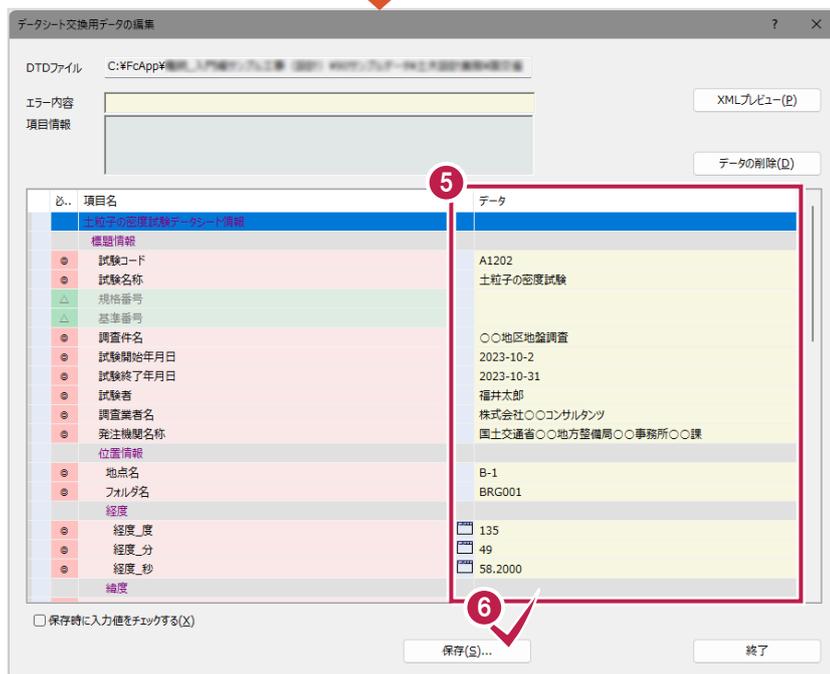
10 登録された電子データシートを選択して、管理項目を入力します。



電子データシート（PDF）のデータシート交換用データ（TSNNNMMM.XML）を作成します。
 （NNNは試料連番、MMMは試験連番）



- 1 交換用データを作成する電子データシート（PDF）を選択します。
- 2 [交換データ] ボタンを押します。
- 3 電子データシートの種類と名称を選択します。
- 4 [OK] ボタンを押します。



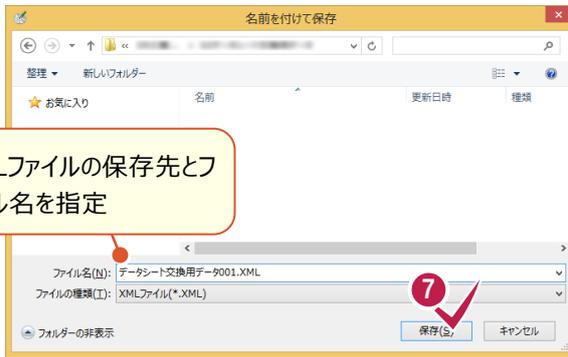
- 5 [データシート交換用データの作成] ダイアログが表示されます。各項目にデータを入力します。
- 6 データを入力し終わったら、[保存] ボタンを押します。

次ページへ

続き

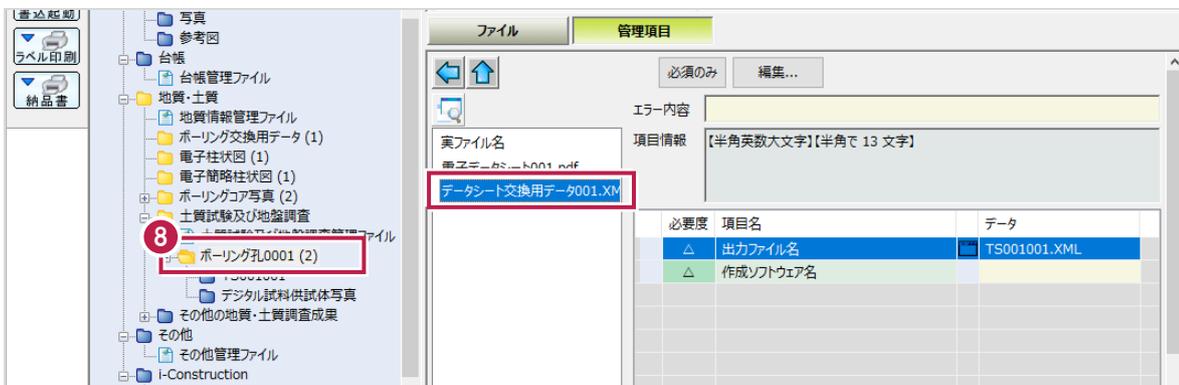


XMLファイルの保存先とファイル名を指定



7 作成したデータシート交換用データファイルの保存先とファイル名を指定して、[保存] ボタンを押します。

8 データシート交換用データファイル (TSNNNMMM.XML) が保存されます。同時に電子データシート (PDF) と同じフォルダに登録されます。



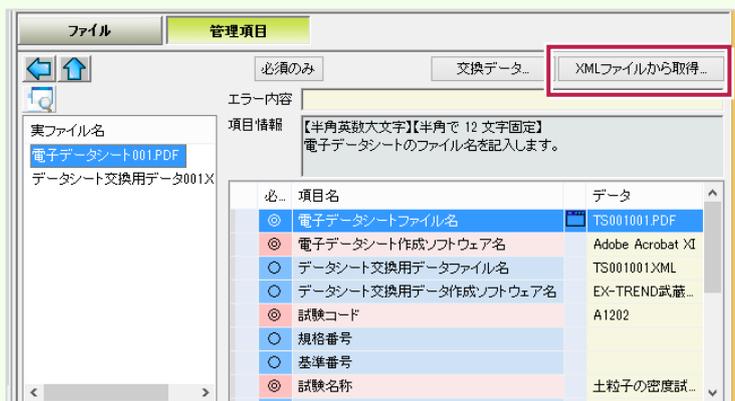
メモ

【XMLファイルから取得】ボタンで、管理項目を取得できます

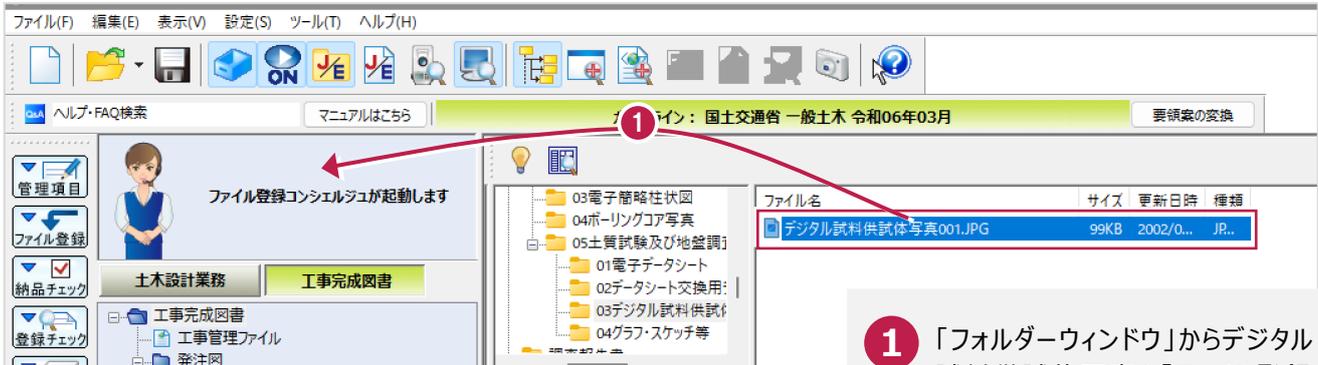
「電子データシート (PDF)」と「データシート交換用データ (XML)」の両方が登録されている場合は、電子データシート (PDF) を選択した時に【XMLファイルから取得】ボタンが使用できます。

【XMLファイルから取得】ボタンを押すと、データシート交換用データ (XML) から、管理項目を取得することができます。

入カミスを防ぐため、【XMLファイルから取得】ボタンを使用することをお勧めします。



撮影したデジタル試料供試体写真を、「デジタル試料供試体写真フォルダー」（¥TESTPIC）に登録します。

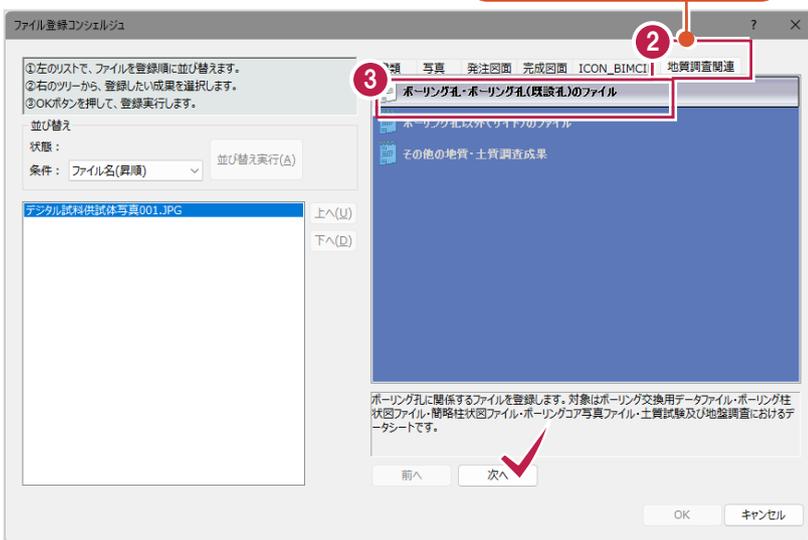


[地質調査関連] タブを
選択します。

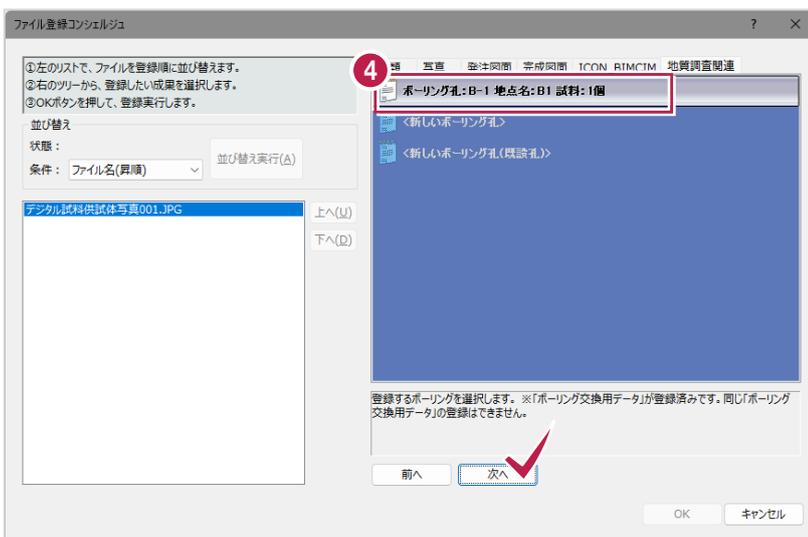
1 「フォルダーウィンドウ」からデジタル試料供試体写真を「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

2 「ファイル登録コンシェルジュ」で「地質調査関連」タブを選択します。

3 「ボーリング孔・ボーリング孔（既設孔）のファイル」を選択して、[次へ]を押します。

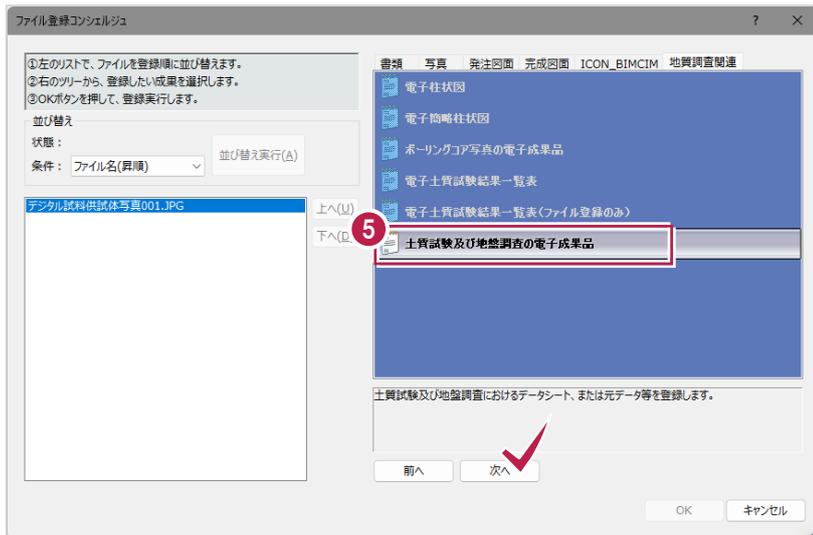


4 デジタル試料供試体写真を登録するボーリング孔を選択して、[次へ]を押します。

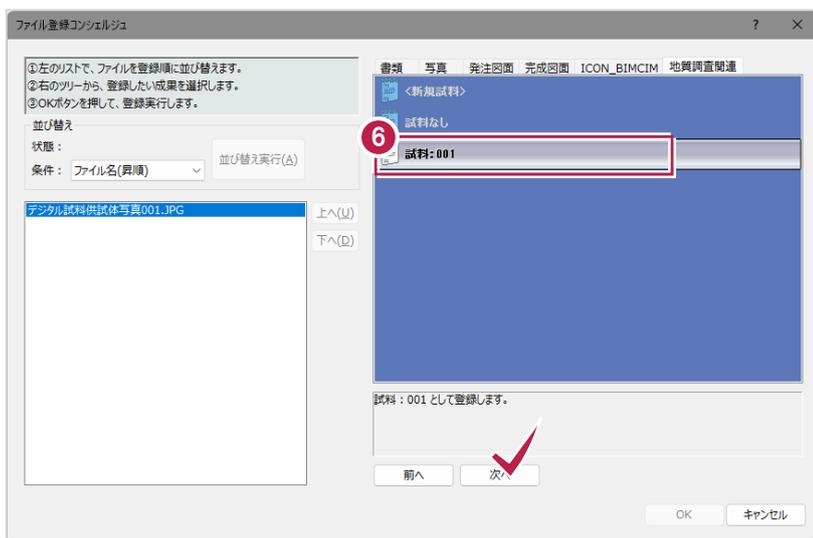


次ページへ

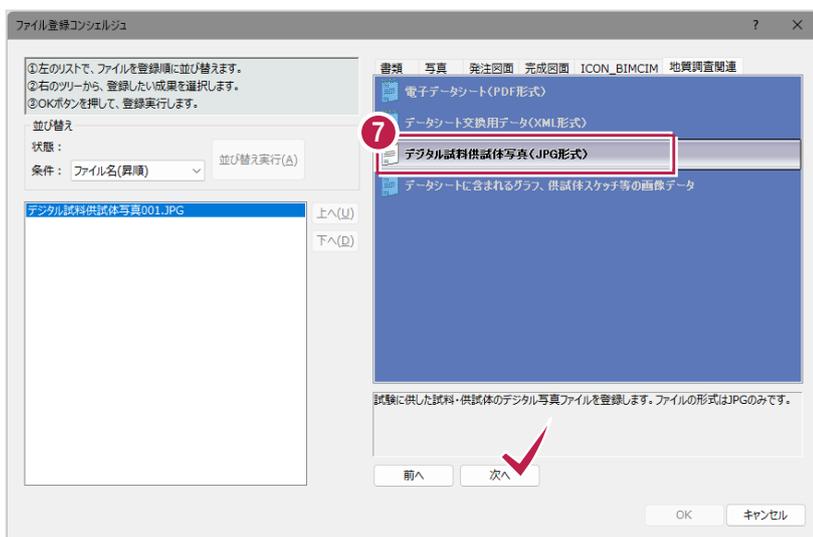
続き



5 [土質試験及び地盤調査の電子成果品] を選択して、[次へ] を押します。



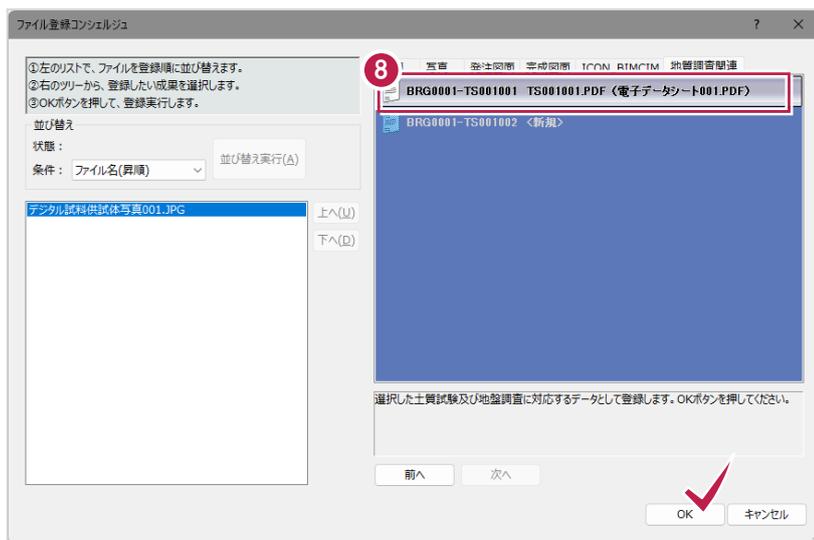
6 デジタル試料供試体写真を登録する試料を選択して、[次へ] を押します。



7 [デジタル試料供試体写真 (JPG形式)] を選択して、[次へ] を押します。

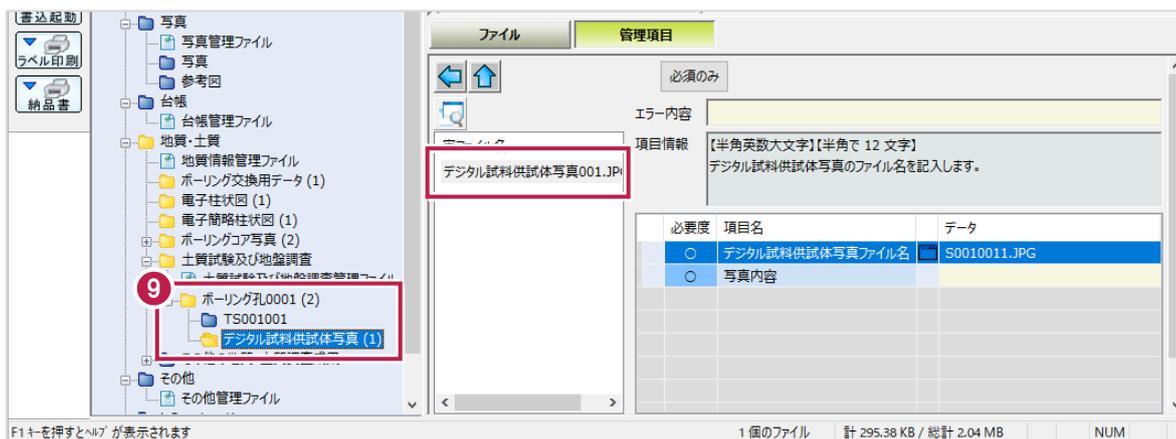
次ページへ

続き

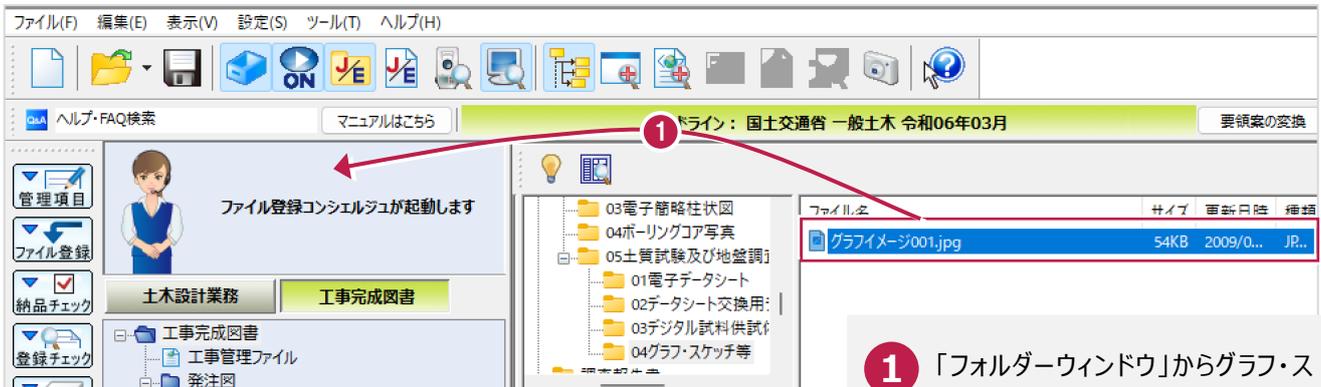


8 デジタル試料供試体写真を登録する電子データシートを選択して、[OK] を押します。

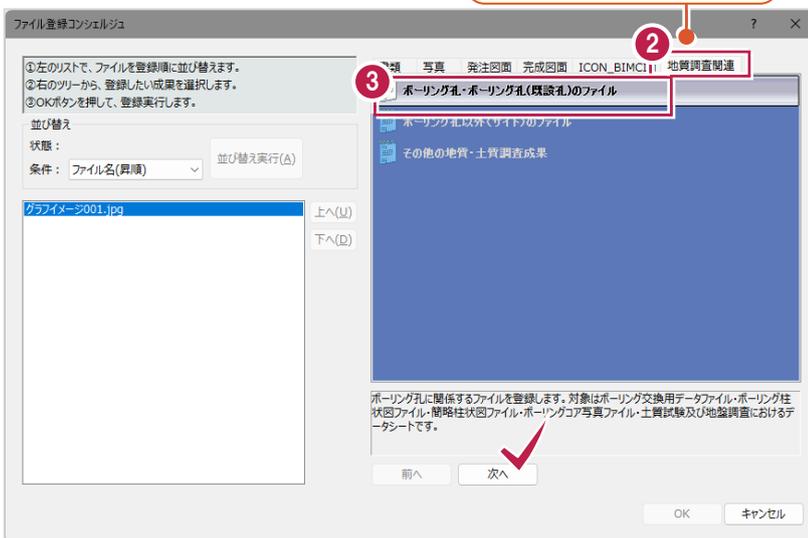
9 選択した電子データシートが登録されているフォルダー内の「デジタル試料供試体写真フォルダー」(¥TESTPIC) に、写真が登録されます。



グラフ・スケッチ等の画像データを、「試料及び試験ごとのサブフォルダー」(¥TSNNNMMM)に登録します。



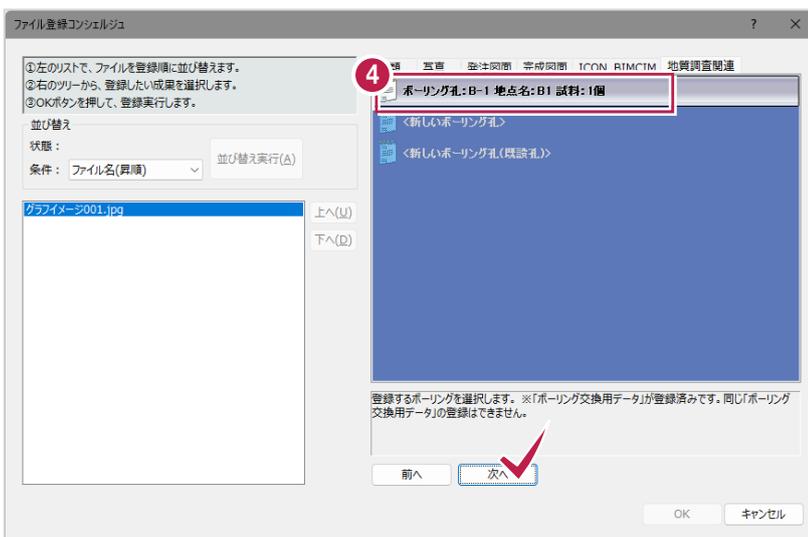
[地質調査関連] タブを
選択します。



1 「フォルダーウィンドウ」からグラフ・スケッチ等の画像データを「ファイル登録コンシェルジュ」にドロップします。

2 「ファイル登録コンシェルジュ」で「地質調査関連」タブを選択します。

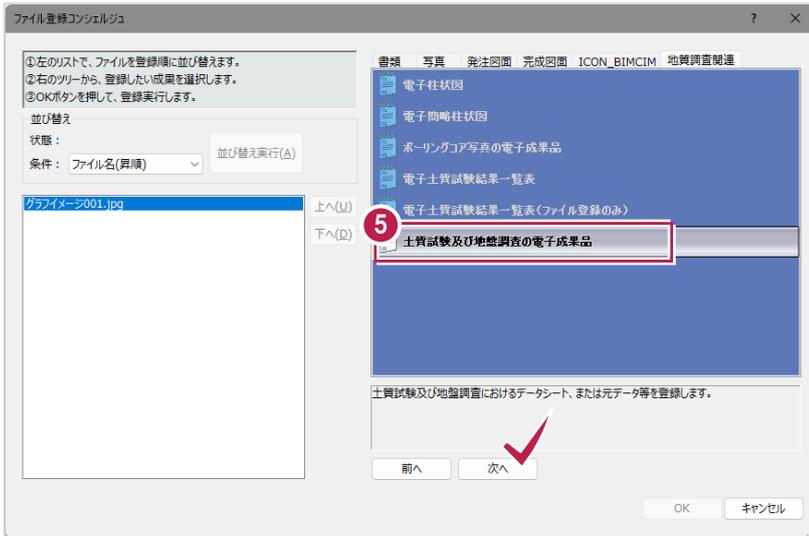
3 「ボーリング孔・ボーリング孔（既設孔）のファイル」を選択して、「次へ」を押します。



4 グラフ・スケッチ等を登録するボーリング孔を選択して、「次へ」を押します。

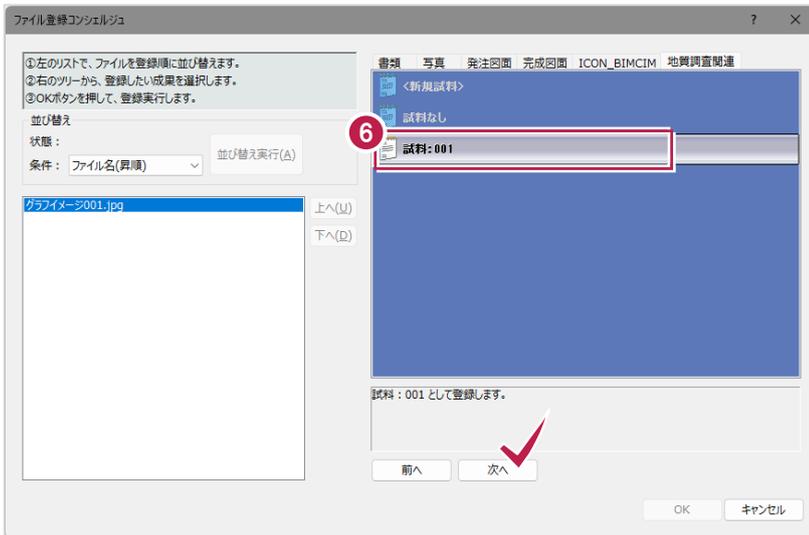
次ページへ

続き



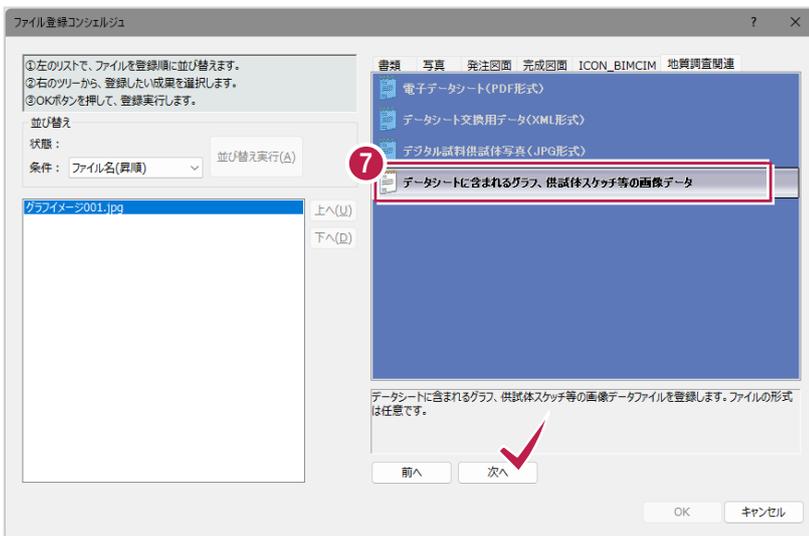
5

[土質試験及び地盤調査の電子成果品] を選択して、[次へ] を押します。



6

グラフ・スケッチ等を登録する試料を選択して、[次へ] を押します。



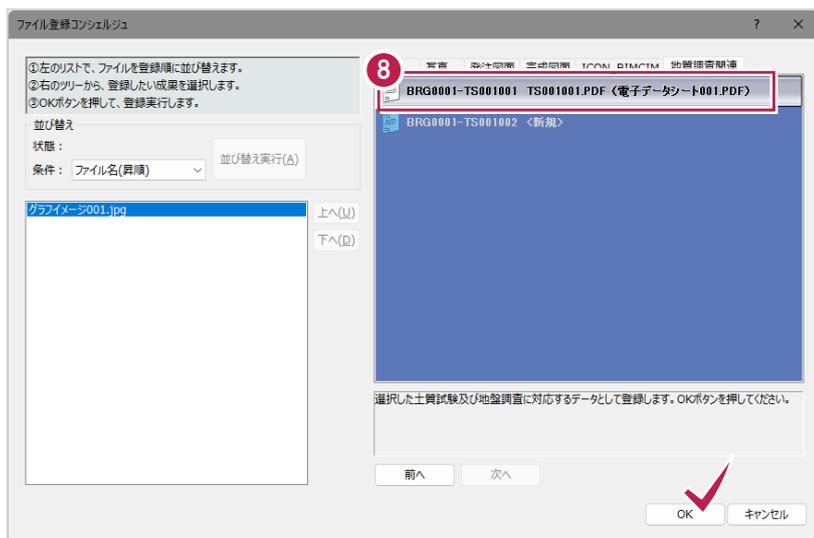
7

[データシートに含まれるグラフ、供試体スケッチ等の画像データ] を選択して、[次へ] を押します。



次ページへ

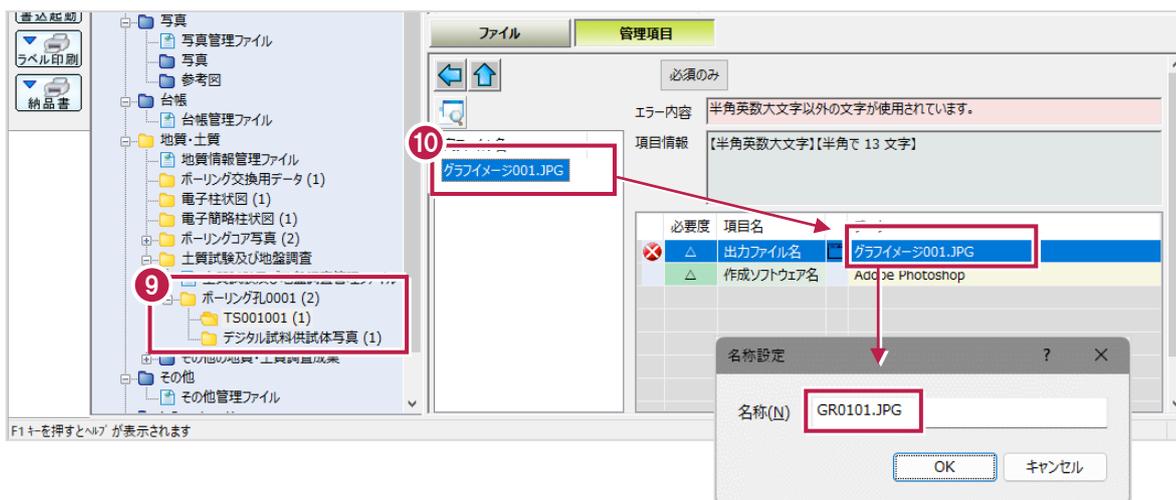
続き ↓



8 グラフ・スケッチ等を登録する電子データシートを選択して、[OK] を押します。

9 選択した電子データシートが登録されているフォルダー内の「試料及び試験ごとのサブフォルダー」(¥TSNNNMMM) に、画像データが登録されます。

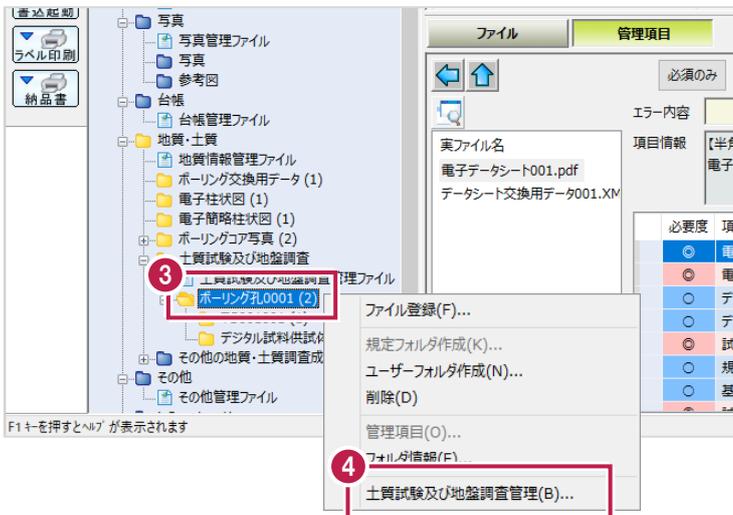
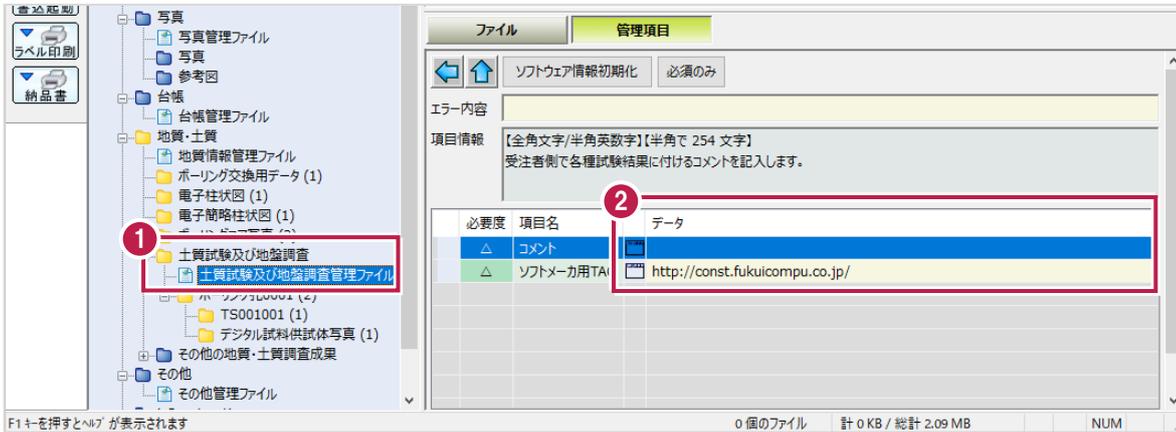
10 登録された画像データを選択して、出力ファイル名を修正します。



土質試験及び地盤調査ファイルの作成

土質試験及び地盤調査管理ファイル (GRNDTST.XML)
土質試験結果一覧表データファイル (STBNNNN.XML)

土質試験及び地盤調査管理ファイル (GRNDTST.XML) と土質試験結果一覧表データ (STBNNNN.XML) を作成します。(NNNNは番号)



- 1 ツリー部で、「土質試験及び地盤調査管理ファイル」(GRNDTST.XML) を選択します。
- 2 管理項目を入力します。
- 3 ツリー部で、「ボーリング孔フォルダー」(¥BRGNNNN) を選択します。
- 4 マウスを右クリックします。表示されたポップアップメニューから、[土質試験及び地盤調査管理] コマンドを選択します。

次ページへ

続き

5 [管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理] ダイアログが表示されます。

6 [試料] で番号を選択し、[結果入力] ボタンを押します。

5 [管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理] ダイアログが表示されます。

「土質試験及び地盤調査管理ファイル」(GRNDTST.XML) の各項目に、データを入力します。

6 [試料] で番号を選択し、[結果入力] ボタンを押します。



7 [土質試験結果一覧表] ダイアログが表示されます。

「土質試験結果一覧表データ」(STBNNNN.XML) の試験情報を各項目に入力し、[OK] を押します。

7 [土質試験結果一覧表] ダイアログが表示されます。

「土質試験結果一覧表データ」(STBNNNN.XML) の試験情報を各項目に入力し、[OK] を押します。

各ボタンで試験の項目を選択します。

次ページへ

続き ↓

管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理

フォルダ名(A) BRG0001
地点名(B) B-1
ボーリング交換用データファイル名(C) BED0001.XML
電子土質試験結果一覧表ファイル名(X)
土質試験結果一覧表データファイル名(Y) STB0001.XML 出力する(U)

位置情報
経度(D) 135 度 49 分 58.2000 秒 ①座標の取得(B)... 位置情報コメント
緯度(E) 34 度 59 分 53.2000 秒 ②座標の貼り付け(S)
標高(E) 0.23
測地系(Q) 02

No.	コメント
1	
2	
3	
4	

試料
番号(G)
番号
試料なし
001
追加(H)...
削除(I)
結果入力(J)...
名称設定(K)...

試料ファイル
登録ファイル(L)
出力ファイル名 サイズ 更新
TS001001.PDF 30 KB 2006

未関連付けファイル(P)
登録ファイル名 サイズ 更新

<-登録(M)
削除(N)->
並替(O)...

土質試験結果一覧表(Z)... OK キャンセル

8 [管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理] ダイアログに戻ります。

[土質試験結果一覧表] ボタンを押します。

基礎情報・標題情報

基礎情報
公開フラグ コード(X) 1: 公開可
※「公開不可」の場合は、その理由を備考欄に必ず記入して下さい。
公開フラグ 備考(Y)

標題情報
調査名(A) 地質検査
整理年月日(B) 令和 5年 10月 19日
整理担当者(C) 福井太郎
調査業者名(D) 福井コンピュータ
発注機関名称(E) 〇〇県〇〇土木事務所

位置情報
経緯度取得方法_コード(E) 02
経緯度取得方法_説明(G) 1分の1の地形図を0.1mm単位で読み
経緯度読取精度(H) 2
ローカル座標(I)

コメント
No. コメント
1
2
3

OK キャンセル

9 [表題情報] ダイアログが表示されます。

「土質試験結果一覧表データ」(STBNNNN.XML)の標題情報を各項目に入力し、[OK]を押します。

結果入力(J)...
名称設定(K)...
土質試験結果一覧表(Z)... OK キャンセル

10 [管理項目 - 土質試験及び地盤調査管理] ダイアログに戻ります。

[OK] を押して閉じます。